

2007 年度 第1回 FGL 研究会全体会議

日時:2007 年 6 月 14 日(木)14:00 ~ 16:00

場所:南部労政会館 第1会議室

出席者:齋藤主査,伊熊委員,板野委員,伊藤委員,大西委員,柏谷委員,鈴木(洋)委員,中岩委員,長友委員,西澤委員,埜委員,横関委員,黒川幹事

【議題】

今期の活動方針について検討した。

また,本日より協同油脂の伊熊委員,日本ルーブリゾールの板野委員が新メンバーとなった。新年度のメンバー表を全委員にメール添付で配布することを承認した。

【議事】

WG の構成と全体会議の役割

- ・これまでの WG の活動でいくのか,再構成するのかなど
- ・また今年度の会議のスケジュールについて

NSF の和訳などを NSF に投げかけても反応がなく拉致があかない状態。トライボロジー学会(以下 JAST)の先生方に参加してもらい,FGL 研究会に何を期待しているのか話を出してもらったかどうか

今後の FGL の規格化に関して,監督官庁が経済産業省,厚生労働省,環境庁と複数にまたがっているため,どこにアプローチしていけば良いかわからない。

2010 年を目処に法制化に向けた形を研究会として作りたい。それを目標にしたらどうか。この問題について,一つのヒントは「建設機械用作用油の自己認証」にあると思われる。次回全体会議あたりでこの認証制度の背景や苦労話を建設機械化協会の方に話をしてもらったかどうか。日立建機の杉山さんが JALOS セミナーで話した資料を板野委員が持っているのでリーダー会で検討することに。

また,今期の活動は下記 WG を主体とし,全体会議は3ヶ月に1度で年4回程度の開催として,活動自体はメール等で中身の濃いものにしていこうということになった。

NSF や用語の統一等(WG1)

- ・NSF 和訳で終わりとするか
- ・新たな活動内容は

NSF の和訳は一段落した。研究会としては NSF の定義や FDA の概念等の説明文を作り HP に入れたらどうか。

ユーザーが H1 を使っているから安心,安全と言えるものなのか。そのあたりも研究会としての見解をまとめていきたい。

ユーザー等に説明すべきものは,ここを見てくださいというものを作って,ホームページに入れていったら良いのでは。

FGL 市場規模の調査(WG2)

- ・メンバー構成

・調査方法

市場調査に関して役所に問い合わせをしても拉致があかないと思う。工場便覧などで調べられないか？業界団体のリストから調査する方法もあるのでは。

調査の方法については、今どれだけ使っているかということ調べることは、メーカーに数量を出してもらおう等調査方法など困難。食品工場ではどれだけ使って貰う可能性があるかということなら推定出来るのではないか。

和菓子、洋菓子など業界毎に組合や団体から会社数を出して、従業員数や事業規模などから検討したらどうか。

HP 委員会 (WG3)

・メンバー構成

・活動指針

HP に委員のリストを入れ、自社 HP とリンクを貼るようにしたらどうか。またその際に会員にリンク料などで費用を負担して貰い、HP 作成の費用にあてたらどうか。

HP 委員会はリーダー会のメンバープラス希望者で構成したらどうか

全体会議の勉強会

勉強会を開催するなどして出席者は会社にお土産を持って帰ってもらうようにしたら出席率は高くなるのでは。

JAST の先生等に FGL への期待などをしゃべってもらったらどうか。

工場見学は齋藤主査が得意先の工場をセッティング中。

上記の検討の結果、全委員は WG1 (NSF や用語の統一)、WG2 (FGL 市場規模の調査)、WG3 (ホームページ委員会)、WG4 (法制化に向けたアクションの検討) のいづかに、現在の WG のままで良いか、他の WG に変更かをアンケートを取り直すことになった。

また、法制化に向けたアクションのための提案書を書ける方はどんどん出していただきたい。

次回会議は以下の通りです。

2007 年 9 月 20 日 (木) 東京都南部労政会館 (第 2 会議室)

全体会議 : 14:00 ~

以上